

高岡ロータリークラブ

会長／山本 毅 幹事／塩崎 吉康



2022/1/20

No.20

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.6

司会 竹田 会場監督 点鐘 山本 会長

点鐘

国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト

会長挨拶

◇誕生祝

藤田 益一さん (1/21 73才)

幹事報告

委員会報告

< ニコニコBOX 6件 25,000円 >

山本(毅)会長／日本海側初のバンクシー展は大きな話題になると思います。井畠会員の卓話を楽しみにしています。

藤田筆頭理事／誕生日祝いを頂き有難うございます。感謝

鞍野会員／車さん高岡RCへ ようこそ！！歓迎します。先週、皆出席祝い頂き有難うございました。

杉林君／本日より事務所を法人化いたしました。今後、もより一層努力してまいりますのでご指導の程お願いいたします。登記は谷道事務所様にお願いしました。ありがとうございます。

竹中君／皆出席ありがとうございました。

白川君／先週、皆出席祝いを頂きまして有難うございました。

理事会報告

*定款変更の件…承認

定款変更検討委員会を設置する

ープログラムー

会員卓話

『バンクシーって誰?』 高岡展について

井畠 克昌 会員

本日は、KNB開局70周年記念事業「バンクシーって誰?展」高岡展の話をさせていただきます。バンクシーは、生年月日が未公表。英国を拠点とする素性不明の男性で、壁にスプレーで絵を描くというゲリラ的なスタイルで落書き作品を残し、スプレーグラフィティ文化をアートとして広めた神出鬼没なアーティストです。

「制作している姿を人に見せない」「人の前に一切、姿を現さない」「本名を知る人は、ごく少数の友人のみ」「社会風刺的な作品が多い」といった特徴で知られるバンクシーが、作品の中に込めているもの、それは現代社会への「怒り」です。

彼の創作活動は、資本主義やアート・マーケット、国際問題に見える経済格差や不寛容、弱者への無関心といったものを生み出してきた現代社会に向けられています。それをあくまでストリートで、アートを武器に批判しているのが、バンクシーなのです。

「バンクシーって誰?展」高岡展は、今年9月11日(日)から12月6日(火)まで、高岡市美術館で開催されます。主催は、KNBと高岡市、高岡市美術館で構成される高岡展実行委員会、本州の日本海側では唯一の開催となります。本展は、世界中で人気を博した「ジ・アート・オブ・バンクシー展」の傑作群を日本独自の切り口で紹介し、「バンクシー」の活動の意味と作品世界を、幅広い世代に体感いただける展覧会です。彼の作品の中でも知名度の高い「風船と少女」やネズミを描いたものなどが鑑賞できるとともに、活動の主戦場であるストリート作品に焦点を当てた、まるで映画のセットのような街並みの再現展示で没入空間を体感できる展示となっています。KNBでは、この「バンクシーって誰?展」に県内はもとより、北信越各県から集客し、高岡市の活性化に少しでも貢献したいと考えています。ぜひ、皆様のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。